

インフラ・GO

Infrastructure・GO



社会環境の変化に伴い、住民からの要望や相談の多様化、老朽化したインフラの増加によって、近年は自治体職員の業務負担が増加しています。当システムを導入することで、維持管理対応の一元管理およびデータベース化が可能となり、日常業務の効率化を図ります。



前田道路株式会社

本店 〒141-8665 東京都品川区大崎 1-11-3 TEL:03-5487-0011

[HP] <https://ssl.maedaroad.co.jp/> 事業所一覧▶



インフラ・GO は、道路維持管理を「見える化」することで一元管理ができるシステムです

このような悩み事はありませんか

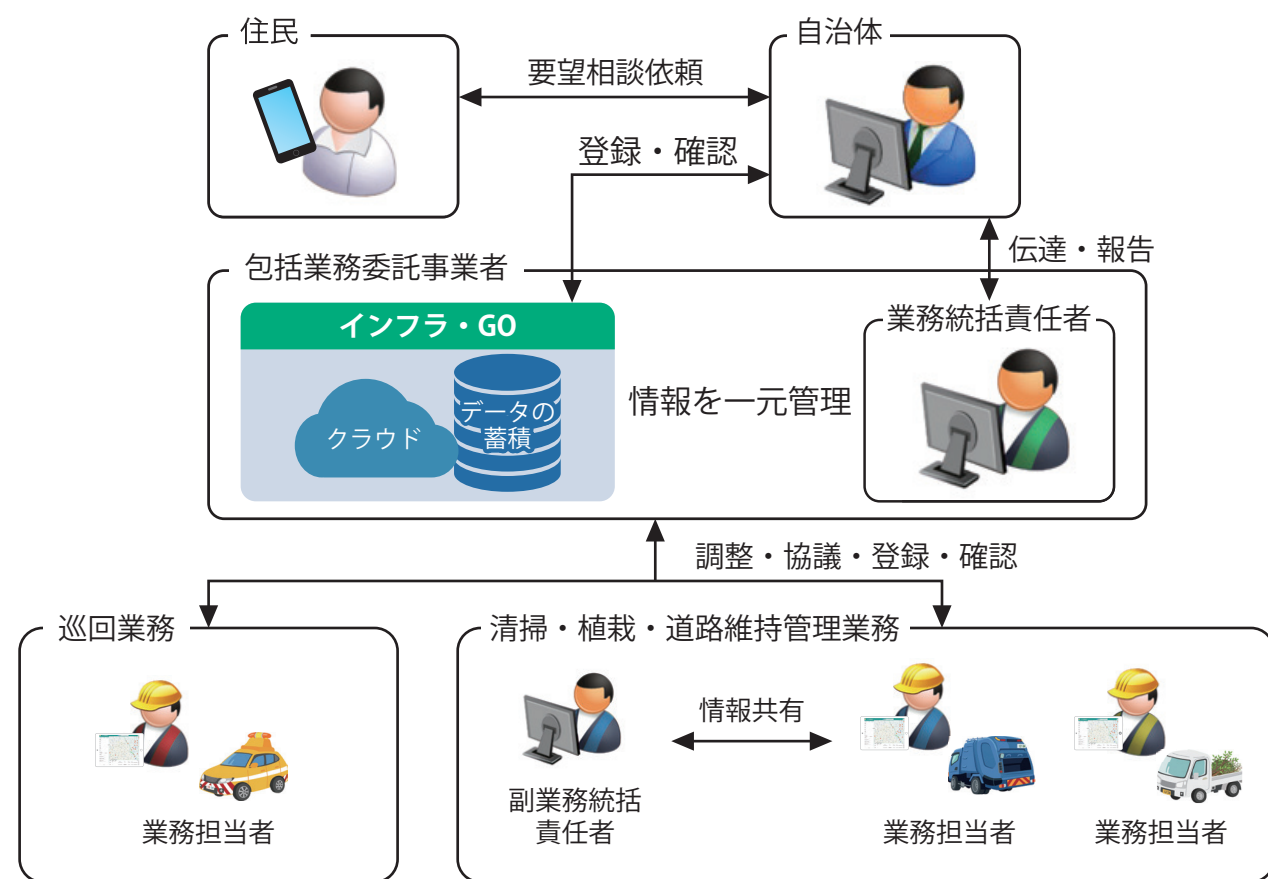
- ① 住民からの要望・相談の記録が散在し、活用できない
- ② 紙ベースの資料が多く、整理や共有に時間がかかる
- ③ パトロール結果が蓄積されず、活用できない
- ④ 委託業者との情報共有に手間がかかる



多様化する住民からの要望や相談の対応が難しくなっている！！

インフラ・GO を活用した事業の業務フレーム（例）

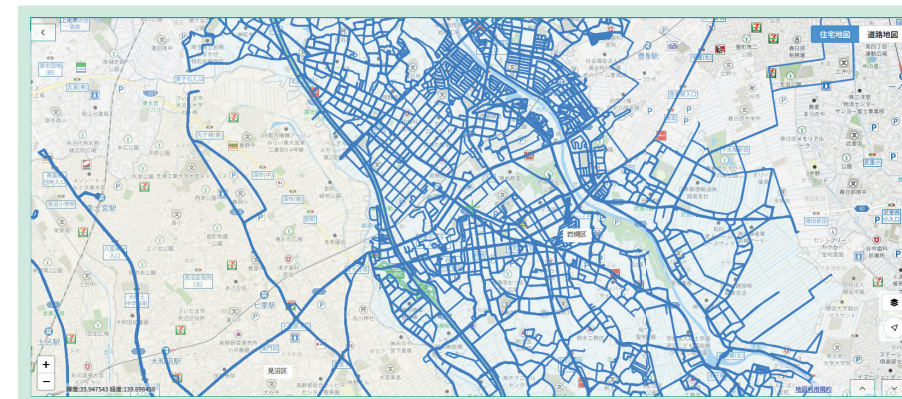
（事例）「令和5年度官民連携モデリング事業」採択自治体
（※自治体のニーズに合わせて対応します）



インフラ・GO のシステム画面イメージ

STEP01

道路巡回軌跡



STEP02

道路巡回時
破損箇所確認ポイント



STEP03

破損箇所補修対応後の
日報自動作成



インフラ・GO活用の「4つのみらい」

① 日常業務の効率化

各種データの蓄積や効率的な記録が活用しやすくなる

② 資料のデータベース化

必要な情報がすぐに検索・共有可能になり、時間削減につながる

③ パトロールの効率化

パトロール結果を蓄積・見える化し、効率的な活用ができる

④ 委託業者との連携強化

リアルタイム共有で指示を迅速化

住民サービスの向上につなげる！！

